

都市計画道路整備方針

(素案)

平成22年11月

神戸市 都市計画総局

目 次

策定の趣旨・目的	1
第1章 機能と整備状況	2
(1) 都市計画道路について	
① 都市計画道路とは	
② 都市計画道路の種類	
③ 都市計画道路の機能	
④ 都市計画道路の整備手法	
(2) 都市計画道路の整備状況	
第2章 整備課題	6
(1) 社会経済情勢の変化と課題	
① 人口減少・超高齢化の進行	
② 地球温暖化防止への取り組み	
③ 経済のグローバル化の進行	
④ 地方分権と市民参画の進展	
⑤ 道路整備に対するニーズの変化	
(2) 将来交通量の見通し	
(3) 長期間にわたる建築制限	
第3章 整備の進め方	9
(1) 都市計画道路整備方針策定の必要性	
(2) 都市計画道路整備方針の対象区間と分類	
(3) 「主要幹線道路」とは	
(4) 「主要幹線道路」の整備の進め方	
(5) 「主要幹線道路以外の道路（生活幹線道路）」の整備の進め方	
第4章 今後の取り組み	17
(1) 主要幹線道路の整備プログラムの策定	
(2) 建築許可制度の運用の見直し	
(3) 都市計画道路整備の検証・評価と反映	
参 考	18
(1) 今後の都市計画道路の整備の流れ	
(2) これまでの都市計画道路の見直しの経過	

策定の趣旨・目的

神戸市の幹線道路網は、既成市街地においては、東西方向に山手・中央・浜手の3大幹線を配置し、南北方向に概ね500mの間隔で格子状に道路を配置するとともに、既成市街地と西北神の新市街地を連絡するため、放射状に道路を配置する計画となっています。

これまで、路線の性格やまちづくりの状況に合わせて、様々な事業手法により、神戸の骨格となる幹線道路の整備を進めてきました。

とりわけ、都市計画道路は、①都市の円滑な交通を支えるとともに、②良好な市街地の形成を図り、③安全で快適な都市生活と機能的な都市活動の基盤となり、④ライフラインの収容空間などの役割も果たす重要な施設として都市計画に位置づけることにより、確実な整備に取り組んできており、現在、約8割の整備が完了しています。しかし、依然として長期未着手の路線もあります。

一方、人口減少・超高齢化の進行、地球環境問題など社会経済情勢の変化にともない、今後、安全・安心で活力ある都市空間を構築するためには、都市交通のあり方を見直し、真に必要な道路を見極め、今まで以上に選択と集中により効率的・効果的な道路整備を進めていく必要があります。

そこで、神戸市都市計画マスタープランの策定に合わせて、「都市計画道路整備方針」を策定し、着実な道路整備に取り組めます。